

平成 30 年度 篠原土地区画整理事業に伴う発掘調査

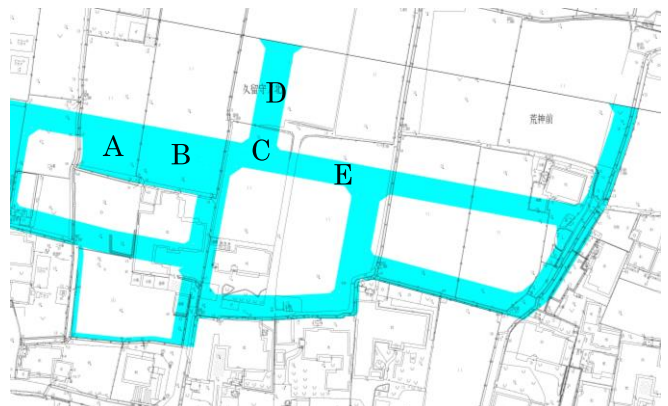
# 若宮ノ東遺跡

## 現地説明会資料

### 1. 調査の概要

篠原土地区画整理事業の実施に伴い、南国市教育委員会では平成 26 年度に遺構・遺物の有無を確認するための試掘確認調査を行いました。その結果、設定した 20 箇所すべての調査坑から遺構・遺物が確認されたため、区画道路の建設工事により影響を受ける範囲について内容を記録保存するための本発掘調査を実施することになりました。なおこの本発掘調査は平成 29 年 10 月から始まり、約 5 年間かけて実施する予定となっています。

所在地：南国市篠原久留守ノ北、荒神前  
調査期間：平成 29 年 10 月～平成 31 年 2 月  
(I 工区調査終了予定)  
調査主体：南国市教育委員会  
調査面積：2030.7 m<sup>2</sup> (H30.9 調査済み面積)

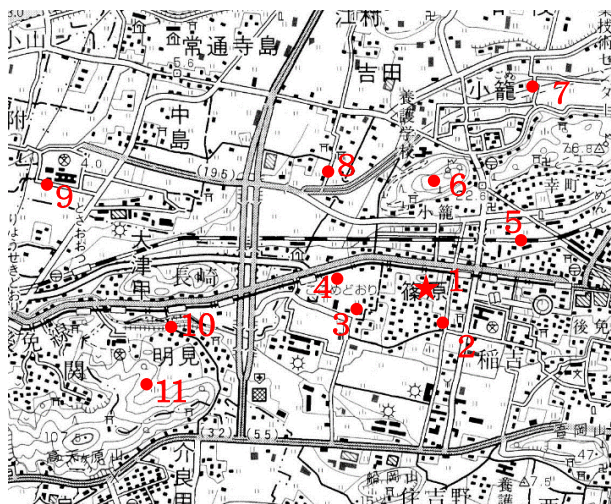


調査範囲

### 2. 若宮ノ東遺跡について

若宮ノ東遺跡は、長岡台地の縁辺部に位置する遺跡で、周辺には祈年遺跡や小籠遺跡といった弥生時代後期（約 1800 年前）～古墳時代初頭（約 1700 年前）にかけての集落遺跡があります。

これまで内容がよく分かっていなかった若宮ノ東遺跡ですが、高知県埋蔵文化財センターが平成 28 年度から高知南国線の建設に伴う発掘調査を実施してきたことで、弥生時代から近現代まで連続と続く遺跡であることがわかってきました。南国市教育委員会では、区画道路が建設される非常に広い範囲で発掘調査を実施するため、若宮ノ東遺跡の全体像をつかめる貴重な機会になります。



周辺遺跡分布図

|    |               |
|----|---------------|
| 1  | 若宮ノ東遺跡        |
| 2  | 北泉遺跡          |
| 3  | 北野寄遺跡         |
| 4  | 忠兵衛遺跡         |
| 5  | 野中廃寺          |
| 6  | 越戸 1,2 号墳     |
| 7  | 祈年遺跡          |
| 8  | 小籠遺跡          |
| 9  | ミトロ遺跡         |
| 10 | 竹ノ後遺跡         |
| 11 | 明見彦山 1,2,3 号墳 |

### 3. 調査の成果

#### ○ I-A、B区

確認した遺構：竪穴建物跡、井戸跡、土坑、溝状遺構、ピット他



I-A、B区 完掘状況



竪穴建物跡 完掘状況



竪穴建物跡 遺物出土状況

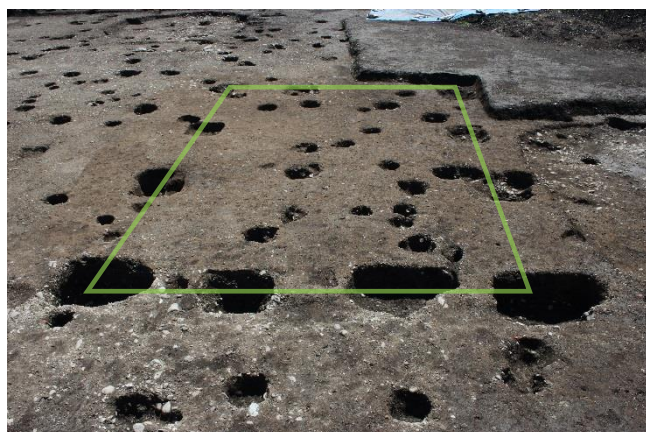


井戸跡 作業風景

幅が約7m、深さが約3mという  
非常に大きな井戸跡と考えられる  
遺構を確認しました。  
この遺構から出土した土器は、コ  
ンテナ約50箱分にもなります。

○ I - C 区

確認した遺構： 竪穴建物跡、掘立柱建物跡、土坑、溝状遺構、ピット他



掘立柱建物跡 完掘状況



ピット 遺物出土状況

○ I - D 区

確認した遺構： 竪穴建物跡、土坑、溝状遺構、ピット他



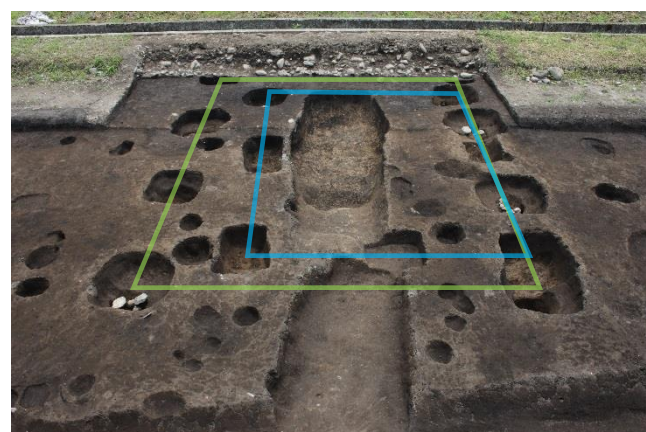
溝状遺構 遺物出土状況



溝状遺構 遺物出土状況

○ I - E 区

確認した遺構： 竪穴建物跡、掘立柱建物跡、土坑、溝状遺構、ピット他



掘立柱建物跡 完掘状況



竪穴建物跡 遺物出土状況

## ○ I－H区

確認した遺構：溝状遺構、ピット



溝状遺構 延長線（想定）



溝状遺構 完掘状況



溝状遺構 遺物出土状況

## 4. まとめ

今回の調査では、弥生時代後期から近現代にいたる遺構・遺物を確認しました。そのなかでも、弥生時代後期～古墳時代初頭（約 1800～1700 年前）と平安時代（約 1200～1000 年前）の 2 つの時期でこの遺跡が特に栄えていたことが分かりました。今後、発掘調査や調査成果の整理を進めていくことで、より詳しく遺跡の内容を明らかにしていきます。

おわりに、南国市教育委員会では篠原土地区画整理事業に伴い若宮ノ東遺跡の発掘調査をこれからも続けていきます。地域のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、今後とも文化財調査へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。